

幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（仮称）」の策定に向けて（中間整理）
～すべてのこどもの「はじめの100か月」の育ちを支え
生涯にわたるウェルビーイング向上を図るために～

こども若者パブリックコメントの募集の結果について

1.実施概要

（1）実施期間：令和5年9月29日（金）～令和5年10月22日（日）

（2）総意見数：6件

※「こども・若者パブリックコメント」の30歳以上の回答者による回答9件はパブリックコメント（資料1-2）の意見として集約しています。

2.意見

※いただいた意見は、集約せずそのまま記載しております。

①『はじめの100か月ヴィジョン』の意義や目的などについての意見

『はじめの100か月ヴィジョン』って何ですか？

○子どもが小学校に入る前までの重要な時期に、一人一人が健やかに育つことができるよう、皆に大切にしてほしい基本的な考え方をまとめたものです。

○「はじめの100か月ヴィジョン」をすべての人に理解してもらうことで、社会の考え方を
変えていききっかけにすること、「羅針盤」が方向を示すように、政府がどのような政策に取り組むべきなのかを示す役割を果たします。



「はじめの100か月」って何ですか？

○お母さんが子どもを妊娠してから小学校1年生の途中くらいまでを月で数えると、
だいたい100か月になります。長い人生のはじめの重要な期間だというメッセージが込められています。

p.1

『はじめの100か月ヴィジョン』 はなぜ必要なのですか？

子どもが小学校に入る前までの時期は、
人生を幸せな状態(ウェルビーイング*)で過ごすために最も大切な時期です。

しかしながら、
どんな子どもであつてもひとしく健やかに育つことができるのかについては、課題があります。

生まれるとき、保育園などに通う時、小学校に入る前後や、家庭、園、関係機関などの
間に切れ目が多いため、

社会全体で子どもの育ちを支える共通した考え方を共有

×

『はじめの100か月ヴィジョン』に
関連する施策の強力な推進のための道しるべが必要。

*ここでは「幸せな状態」とは、身体、心、取り巻く環境や社会の状況のすべての面で良い状態にあることを意味しており、専門用語で「ウェルビーイング」と呼んでいます。

すべての子どもの生涯にわたる
身体的・精神的・社会的に良い状態・幸せな
状態(ウェルビーイング)



⇒すべての人の
ウェルビーイングにもつながる

p.2

子供に父親と母親が健在である事を前提に定義されている。
ひとり親が(父子家庭)、仕事と子育てでどれだけ疲弊して
いるか知って欲しい。

人生を幸せに過ごすために最も大切な時期に片親がいない
事は子供にとってマイナスが多い。(27歳)

赤ちゃんは大事

子どもには優しくしたらいいと思う(5歳)

小学校に入学する前の子どもは、字も読めないし、このお
知らせを知ることでもできにくいです。保育園や幼稚園にス
クールソーシャルワーカーさんがいて、話をきいて、代弁
してほしいです。(13歳)

100ヶ月と言う具体的な指標から、その時期を想像しやす
くなり、限りある時間だからこそ非常に重要な時期である
のだという事が分かり易く示されていると考える。また、
「関連する施策の協力的な推進のための道しるべが必要」と
記載されているが、その部分の内容をも少し具体的に知り
たいと感じた。(20歳)

②「こどもの権利と尊厳を守る」ことについての意見

01

こどもの権利と尊厳を守る

⇒こどもの権利が守られながら健やかに育つ

- ✓ **乳幼児は生まれながらに権利をもっている**
すべてのこどもが、生まれながらに権利を持っている存在として一人一人の違いが尊重されている。
- ✓ **乳幼児の思いや願いの尊重**
幼児期のこどもの意見は必ずしも言葉で表されるものではなく、さまざまな思いや願いとして色々な形で表れる。一人一人のペースがあるため、その思いや願いを受け止め尊重すること。
- ✓ **生命や生活を保障すること**
どんな環境に生まれ育っても、心身・社会的にどんな状況であっても、すべてのこどもの生命・栄養状態を含む健康・衣食住が守られている。

p.4

やりたいことをさせてもらえてない
お父さんやお母さんがいない子ってほんとにいるの？
何かしてあげたいけど、自分がそれで困るのは嫌、大変すぎたりお金がかかったり（5歳）

約28年前に国連で日本国は批准した児童の権利条約を順守して下さい。国連から世界から5回も過去非難決議が可決され、批准しろと勧告も受けています。無視してるのですか??（29歳）

乳幼児は話ができないから、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士さんなど）さんが守ってほしいです。親はいつでも、子どものためを思って行動するわけじゃないです。親が生活が大変だと、子どものことは二の次になります。生活保護を受ける権利は、世帯単位でなく、個人単位にしてほしいです。親が就学援助も申請してくれないと、我慢を強いられるだけです。児童相談所よりもひどい生活をしていたと思います。（13歳）

子どもの権利があることの認知を広げることは非常に重要なことだと思います。子どもに権利があることを非常に分かり易く示されていると思います。特に3番目の「生命や生活を保障すること」は国の状況に応じてしようがないとみなされてしまうことも少なくないと感じているので、非常に大切だと思います。（20歳）

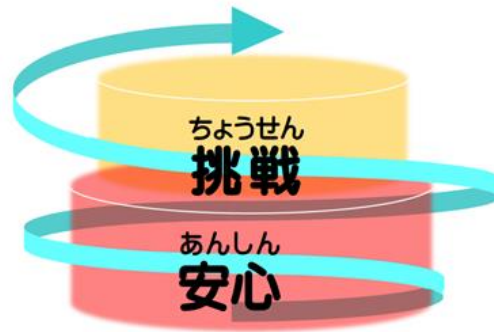
③「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高めることについての意見

02

「安心と挑戦の循環」を通して
こどものウェルビーイングを高める

⇒乳幼児の育ちには

「アタッチメント」の形成と豊かな「遊びと体験」が重要



アタッチメント(愛着)

<安心>

こどもが怖くて不安な時などに身近な大人が寄り添う
ことで、「安心」することができる

豊かな遊びと体験

<挑戦>

様々な人や環境と出会い、「遊びと体験」をする
ことで、外の世界へ「挑戦」していくことができる

p.5

いっつもお母さんにぎゅーしてほしい

小学校に行くのは不安

大きくなったらぎゅーしてもらえなくなるのは嫌だからずっと子どもでいたい (5歳)

安心できる場所や土台があるからこそ、挑戦できるのだということが図で分かり易く示されていて良いと思います。戻れる場所があるからこそ挑戦できるのだという基本を大切にしたいと感じました。(20歳)

④「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支えることについての意見



保育園入園に関係する優先事項を第1位をひとり親にして欲しい。市町村によっては親がフルタイムで働いている事が第1位をに格付けされている。さらに自営業だと自宅で仕事しながら子育てできると思われているが、子育ては立派な人を育てる仕事です。片手間でできる仕事ではない。居宅外と居宅内業務を平等に扱うようにして欲しい。可愛い我が子と言えども2歳～4歳児と24時間一緒にいると親の方が健全な子育てができない。(27歳)

わからない
大きくなってから考えます
お母さんもお父さんも怒らないように、生まれる前に教え
といてほしい(5歳)

妊娠期から困難が予想される子どもにはソーシャルワーカーさんをつけてほしいです。学校のスクールソーシャルワーカーさんは、時給らしく、生活ができないそうで、毎年変わってしまい、相談しにくいです。せっかく信用できる人だとおもったのに残念です。学校の先生も、学校内でなんとかしようとするらしく、スクールソーシャルワーカーさんを紹介してくれないです。(13歳)

見通しを持って子どもを支えることは本当に重要だと感じます。自身の経験から、特に小学校と幼稚園等には大きな切れ目があると感じます。「1年生は、小学校に馴染めるように」という考え方でなく、幼稚園等で培った経験や遊びを活かす事ができる小学校作りが大切だと思います。そのため、教科の時間だけではない、友達と何か作ったり、遊んだりする時間をもう少し重視すべきであると、この資料を見て感じました。(20歳)

⑤保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をすることについての意見

04

保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする

⇒**こどもの育ちそのものにとって重要**

- ✓ **支援・応援を受けることを当たり前**
こどもを育てることの最初の責任が保護者にあるからこそ、保護者が幸せな状態（ウェルビーイング）であり、親として成長できるよう、支援・応援は不可欠。
- ✓ **すべての保護者・養育者とつながること**
すべての保護者、こどもが支援につながるができるよう、こども同士がつながる身近な場所の活用など接点づくりの工夫が欠かせない。
- ✓ **男女ともに保護者・養育者が共育ち**
養育に必要な脳や心の働きは男女差なく経験によって育つ等

p.7

そんなことを子どもに聞かないでください（5歳）

親が大変だと、子どもはより大変になります。親を助けてあげてほしいです。父親は吃音、母親は統合失調症、弟は不登校なのに、親が行政の福祉とは関わりたくないらしく、何の支援もうけません。とてもつらいです。スクールソーシャルワーカーさんなら、学校からくる先生だから、教育だから、親も安心して私達に何かをしようとするようです。（13歳）

児童扶養手当が改正されましたが、遺族年金を受給していると対象者から除外されます。遺族年金は死亡した者が積み立てていた厚生年金から支払われる。児童手当や児童扶養手当の原資は子ども拋出金から支払われている。遺族年金を受給されていても児童扶養手当を受け取れる制度に変えて欲しい。（27歳）

子育ての孤立が問題である今、助け合いを当たり前にするには確かに重要だと共感しました。子どもの育ちには、保護者と養育者の精神的な安定やこどもの対する知識が不可欠だと思います。そして、保護者もこどもとともに成長するのですから、助けられることを当たり前だと感じれる世の中になれば良いと思います。また、資料が文字だけであることから、簡単なイラストを添えても良いのではないかと感しました。（20歳）

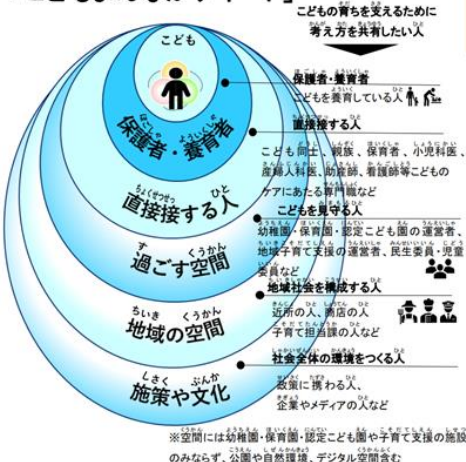
親になる時に、親になる勉強をする仕組みが無い。教員になるには、沢山の科目を学び資格を取るのに、家庭教育を担う親は、何も学ばずにいきなり親になる。不安と心配で子育てをしたく無いという友人もいる。親が親になるための学びの機会を、国の仕組みとして作ってほしい。勿論無料で、安心して学べる場が必要。ぜひ実現してください！（28歳）

⑥子どもの育ちを支える環境や社会の広がりを増やしていくことについての

05

子どもの育ちを支える環境や社会の広がりを増やしていく

「子どもまんなかチャート」



子どもを育てる最初の責任者として保護者の役割が重要だからこそ、社会が支えて応援することが必要。

今の社会構造に合った発想で、子どもの育ちを支えることが必要。

✓子どもまんなかチャートの視点

すべての人がそれぞれの立ち位置で、子どもを支える当事者となることについて、「子どもまんなか」の視点で分かりやすく。

✓子どもも含め環境や社会をつくる

さまざまな立ち位置で、子どもを支える人同士をつなぐ、コーディネーターを担う存在が必要。

知らないこともあるからわからないでも、子どもの言うことばかりみんなが聞いてくれるんじゃないでしょ？（5歳）

みんなが、子どもまんなかのためにがんばってくれるのがわかる絵なので、わかりやすいと思いました。大きい丸の人が、たくさんがんばってくれてると思ったけれど、お父さんやお母さんは、ぼくと毎日くらして、たくさんお世話をしていています。（9歳）

図のように、子どもに優しい社会ができると、その恩恵が保護者、養育者にも渡り、そして次は直接接する人と良い社会に繋がっていくと思います。少子化が進んだ影響で、子どもや保護者等への環境への重視が疎かにならないようにしなければいけないと感じました。（20歳）

直接接する人に、スクールカウンセラーさんやソーシャルワーカーさんを入れてほしいです。学校の先生はお昼休憩も取れないくらい忙しいらしく、話をきいてもらえません。いつも疲れています。運動会や学習発表会、文化祭は楽しいけど、先生がその分、授業が進まず、とても忙しくなるそうです。授業が進まないといつも言っています。スクールカウンセラーさんやソーシャルワーカーさんなら、クラスも持っていないし、ちゃんと話を聞いてくれます。担任の先生を通さなくても、直接、カウンセラーやソーシャルワーカーさんと話したいです。先生は、みんなの話をきいて、私も悪いといえます。私の話を百パーセント聞こうとしてくれません。先入観で見えてきます。学級運営、学校運営が大事だそうです。カウンセラーやソーシャルワーカーさんなら、私の話をちゃんと聞いてくれます。悪いもの扱いされるなら、話したくありません。（13歳）

自由記述



スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーさんが学校に毎日いてほしいです。学校の先生は、あなたも悪いのよという姿勢で、みんなで握手で終わらせようとするけど、ちゃんと話もきいてくれないのに、それはないと思います。（13歳）

なんか難しいことばかり聞かれたので、これはもうちょっと大きくなってから考えます（5歳）

子供の生活や権利を守る事はとても重要である
しかし、共に暮らす親が健全であってこそ子供が健やかに生きていける事を理解して欲しい。
少数であるが父子家庭と母子家庭への生活向上を考えてもらいたい（27歳）